

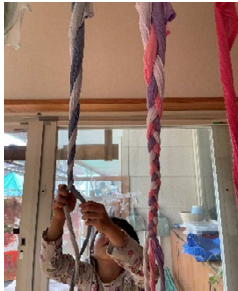


# しょくいんしつだより

# 10がつ

令和5年10月20日

## 子どもの夢中になっている場面を見つけました！



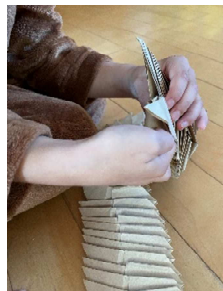
ホール前にきれいな色の麻布が天井からグラデーションで均等にぶら下がっています。風に揺れる布、均一の並び…触りたくなってジャンプして触れる子どもたちもいたり、じっとみつめる0歳児さんもいる場所です。ふとそこを通りかかるとつき組の女児が無我夢中に三つ編みをしていました。5歳児ってこんなに上手に三つ編みできるんだ！と驚きました。「端っこから三つ編みしないの？」という私の浅はかな質問に対し、「だって、色が違うよ」と色のグラデーションを考えている。「すごい！」という言葉でほめるのではなく違う言葉の現方法でつたえたいのに「すごい！」しかできませんでした（笑）

職員の保育目標に「すごい」「上手」のほめ言葉の表現を考えよう  
とあります。すごい、上手だけで終わるのではなく、どういうところがどうすごいのか上手なのかを伝えていこうとしています。

べつ形の折り紙製作をプレゼントされたようでうれしくてたまらない様子で、K君のすごさを熱弁してくれました！



折り紙名人とよばしてもらいたい（笑）と伝えると「ママはね、折り紙のプロ！って言ってたよ」と。つき組のK君は折り紙に夢中で、出来上がった作品を見せてくれます。あまりにも完成度が高く、どうやって作ってるの？聞くと「YouTube でみたよ」と。何度も見て折り続けたそうです。友達の見線もK君の指先を見て、真似をしようとしたり、教えてもらったり…次の作品も楽しみです。ひよこすみれ組さんのお友達にも触らせてくれます。



## 子どもの学びのスタイルは観察から模倣です。子どもたちの観察・模倣の様子です。

じっと見ていた1歳児。カップをとりにいきすぐさまねっこ



模倣

玩具を使って砂に型を作っている2歳児！玩具をそっと持ち上げて出来上がった型を確認して喜び合っていました



泥だんごを握る4歳児の指に注目の0歳児



見てる…  
見てる…



真似して滑ろうとしましたが、怖くて止めるという選択をした1歳児

観察して模倣しているだけでなく楽しい雰囲気の間も共有できています。